

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学附属病院検査部では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 5 月 福島県立医科大学附属病院検査部 検査部長

【研究課題名】 B 群レンサ球菌 (GBS) 選択増菌培地の性能評価

【研究期間】 平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月

GBS は新生児に対し重篤な感染症を起こすことが指摘されており、膣分泌物からの GBS 検索は妊婦健診における重要な検査項目となっています。膣分泌物は常在細菌を多く含むため、通常の培養検査では GBS の検出が多く混在する常在細菌に紛れ困難となる場合があります。GBS を選択的に培養し、菌を増やすことにより、GBS の検出率の向上が期待されます。本研究では新たに開発された GBS 選択培地の性能を評価することを目的としていますが、それにより得られる妊婦健診における GBS の検出率についても検討する予定です。

【研究の方法】

- ・妊婦健診時に提出され検査終了した膣分泌物検体を使用させていただきます。
- ・検体を GBS 選択増菌培地に接種し 35℃で 18～24 時間培養します。
- ・選択培地で増えた細菌を血液寒天培地に塗布し、培養します。
- ・血液寒天培地上に発育したコロニーから菌種の同定を行います。
- ・GBS 選択分離培地による GBS の検出率を計算します。
- ・研究に際しましては、使用する膣分泌物検体やデータは匿名化 (連結不可能) を行い、プライバシー保護に努めます。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座	主任教授	志村浩己
主任研究者	福島県立医科大学附属病院検査部	専門検査技師	大橋一孝
研究分担者	福島県立医科大学附属病院検査部	技師長	大花昇

【人体から採取された試料等の利用について】

妊婦健診時に提出され検査終了した膣分泌物検体を使用させていただきます。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用 (コピー代等) をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院検査部 担当 大橋一孝
電話: 024-547-1472 FAX: 024-547-1472
E-mail: kazu-nol@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp